

3 正常冠動脈で急性心筋梗塞を発症した重症大動脈弁狭窄症の一例

小村 悟・澤村 一司
尾畑 純栄・宮北 靖 (新潟こぼり病院)
大島 満・大塚 英明 (循環器内科)

【症例】77歳女性. 昭和63年より高血圧, 高脂血症にて内服. 平成12年7月より労作時胸部圧迫感を自覚, 徐々に頻度が増加した. 平成13年1月13日午前2時同症状で覚醒, 朝まで持続, 午前8時20分当科搬送入院となる. 来院時症状持続, 血圧84 mmHg 触診, 末梢冷感あり. 心電図上, 心拍数81洞調律, I, II, III, aVF, V3 ~ V6で著明なST低下 (V5最大10 mm), 左室高電位を認めた. 緊急冠動脈造影では, 左右冠動脈に狭窄を認めず, 左室圧195 mmHg, 拡張終期圧38 mmHg, 左室大動脈圧較差80 mmHgであった. maxCPK 4508 (MB 574), 心筋トロポニン18.7 ng/ml. ²⁰¹TlCl, ^{99m}Tc-PYP Dual SPECTでは前壁, 中隔, 後側壁の多枝領域にピロリン酸取り込みを認めた. 2月19日待期的に大動脈弁置換術を施行した.

【考案】本例では心筋梗塞の原因として冠スパスムや血栓性閉塞は否定的であり, 重症大動脈弁狭窄の存在が関与している可能性が示唆された.

4 当院における低侵襲冠動脈バイパス手術の現況

田中佐登司・小熊 文昭
山本 和男・篠永 真弓 (立川メディカルセンター)
斉藤 典彦・菊地千鶴男 (立川総合病院)
杉本 努・本橋 慎也 (心臓血管外科)
春谷 重孝

当科では1998年1月より心拍動下冠動脈バイパス手術 (以下 Off pump CABG: OPCAB) を施行しているが, そのうち, 胸骨正中切開を行わない OPCAB すなわち低侵襲冠動脈バイパス手術 (Minimally invasive direct coronary artery bypass grafting: MIDCAB) について検討し, 加えて Mini-sternotomy (胸骨部分切開) による OPCAB (以下 Mini-CAB) を紹介する.

1998. 1月より2001. 6月まで当科で施行した OPCAB は108例であった. このうち MIDCAB 症例は52例, 胸骨正中切開法による OPCAB は56

例であった. 左前側方小開胸による Left anterior small thoracotomy (LAST) 症例は38例, Mini-CAB 症例は10例, LAST+腹部正中小切開法2例, 左開胸法1例, 小開腹経横隔膜法1例であった. 吻合数/pt は胸骨正中切開法 OPCAB 1.88 /pt, LAST 1.03 /pt, Mini-CAB 1.1 /pt, LAST+腹部正中小切開法, 左開胸法 1 /pt, 小開腹経横隔膜法 2 /pt であった. 術前因子, 手術, 術後成績について LAST 群, Mini-CAB 群で検討した.

年齢, OMI の既往, DM, COPD 罹患率は有意差なく, Mini-CAB 群で女性が多く, 腎機能低下例, 脳梗塞例が多かった. LVEF は 57.7 ± 11.6 , 48.8 ± 10.2 % と Mini-CAB 群で有意に低値であった.

手術時間は LAST 群平均145分, Mini-CAB 群193分, 術中出血量は 75.1 ± 45.3 ml, 136.3 ± 71.1 ml. と LAST 群で手術時間は短く, 出血量は少なかった. LAST 群で3例 LITA 損傷を認め IEA, SVG で2例グラフトを延長した. 2例で LAD が見つからず D1へ吻合した.

手術成績: 院内死亡なし. 術後カテコラミンの投与を要した症例は LAST 群23/38例, Mini-CAB 群6/10例であった. 術後 Max CPK は LAST 群 1007.1 ± 613.2 IU/l, Mini-CAB 群 343 ± 137.2 IU/l, Max CPK-MB は 21.1 ± 10.0 , 13.3 ± 3.9 と LAST 群で有意に高値であったが, PMI は両群とも認めなかった. 術後経過は LAST 群で1例出血再開胸を認め, 術後平均外科入院期間は LAST 群8.8日, Mini-CAB 群8.9日であった.

術後早期 CAG は全例で施行. グラフト開存率 (LAST 群, Mini-CAB 群の順に示す) は LITA → LAD: (86.8 %, 100 %), RA → RCA: (-, 100 %) であった. 吻合部90%以上の狭窄, グラフト string を閉塞に含めた完全開存率は LITA → LAD: (73.3 %, 90%), RA → RCA: (-, 100 %) であった.

Mini-CAB ビデオ供覧

胸骨正中切開による OPCAB, Mini-CAB の成績は良好だが, LAST の成績は良好とは言えない. LAD 1枝に加えて LAD, RCA 2枝病変にも対応可能な Mini-CAB が, MIDCAB の第一選